連合・教育文化協会共催

**＜連合30周年プレ企画＞ 第16回「私の提言」募集**

連合は、（公社）教育文化協会と共催で、2004年から「私の提言 連合論文募集」を行ってきました（注１）。第８回からは、募集内容を論文から提言に改め、「『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて（注２）」をテーマに、連合が提起している社会ビジョンの実現につながる提言を募集してきました。

第16回となる今回は、「連合30周年プレ企画」として「未来は私たちの手で変えられる　連合・労働組合が今取り組むべきこと」をテーマに提言を広く募集します。皆さんからの提言を活かしながら、労働運動をさらに前進させたいと考えています。

(注１)「私の提言」は 「山田精吾顕彰会の論文募集」事業を継承して実施しています。山田精吾顕彰会は、連合

初代事務局長であり、労働界の統一、発展に生涯を捧げられた故・山田精吾氏の遺志を受け継ぐため、ご

遺族から寄贈された資金を基に1997年に設立され、労働運動功労者の表彰や若手活動家の育成などに取

り組んできました。故・山田氏は「理想は高く、目線は低く」の現場からの視点、友愛と連帯に裏打ち

された団結の大切さを持ち続け、労働者の組織化、労働条件の向上などに大きな足跡を残されました。

(注２)連合の提言「『働くことを軸とする安心社会』にむけて」は連合のホームページに掲載しています。(http://www.jtuc-rengo.or.jp/)

**１．今回の募集テーマとイメージ例**

（１）募集テーマ

「未来は私たちの手で変えられる　連合・労働組合が今取り組むべきこと」

現在、急速な労働人口の減少や超高齢化の到来、ＡＩ、ＩｏＴといった情報技術革新、産業構造の変化、グローバル経済の影響など、社会・経済が大きな変革を迎えています。そのような中で、仕事、働くこと、連合・労働組合への戦略的な提言を募集します。

（２）提言のイメージ（一例）

・賃金はどうやって引き上げることができるか

・長時間労働の削減策について考える

・多様な人が安心して働くことのできる職場・社会とは

・働く者の視点から社会保障と税を考える

・労働組合の輪を広げていくために

・職場における格差の是正をはかるために

・人生100年時代の働き方・生き方とは

・多様な働く者の声をどのように政策に反映させるか

・地域社会における労働組合の役割とは

・すべての子どもたちに学ぶ機会を保障するには　など

※この他のテーマでのご応募も大歓迎です。

**２．選考・表彰**

（１）選　考：第16回「私の提言」運営委員会で審査します。

　　　　　　　※優れた内容の提言は、連合運動への反映、実現をめざします。

　　　　　　　※「文章表現」「具体性」「独自性」「社会性」「現実性」を重視して審査します。

＜第16回運営委員会の構成＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 運営委員長 | 南雲　弘行 | 教育文化協会　理事長 |
| 運営委員 | 相原　康伸 | 連合　事務局長／教育文化協会　副理事長 |
|  | 橋元　秀一 | 國學院大學経済学部　教授 |
|  | 廣瀬真理子 | 東海大学教養学部　教授 |
|  | 大谷由里子 | 有限会社志縁塾　代表 |
|  | 吉川　沙織 | 参議院議員 |
|  | 田中　　智 | ＵＡゼンセン　常任中央執行委員 |
|  | 内田　文子 | 電機連合　中央執行委員 |
|  | 渡辺由美子 | ＪＰ労組　書記次長（連合女性中央執行委員）  （Rengoアカデミー マスターコース修了生） |
|  | 草場　義樹 | 連合佐賀　事務局長（連合九州ブロック連絡会） |
|  | 新谷　信幸 | 連合総研　専務理事 |
|  | 木村　裕士 | 教育文化協会　専務理事 |
|  | 仁平　　章 | 連合　総合企画局長 |

（２）表　彰：優秀賞　表彰盾と副賞　　20万円

佳作賞　賞状と副賞　　　10万円

　　　　　　　奨励賞　賞状と副賞　　　 3万円

　　　　　　　学生特別賞　賞状と副賞　月１万円の奨学金×12ヶ月

※連合第16回定期大会 (2019年10月11日)で表彰予定

☆応募者には、もれなく記念品を進呈（除く、入賞者）

☆共同で執筆された場合、表彰・記念品の進呈は代表者のみに行います。

☆学生特別賞は、2019年９月時点で、大学院、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、各種学校など、各学校に在籍している方が対象となります。

**３．応募について**

（１）応募資格

どなたでも応募できます。

（学生の方、一般の方など、どなたからの応募も歓迎いたします。組合員、組合役職

員、組合ＯＢももちろん応募できます。）

（２）応募先

[info-ilec@sv.rengo-net.or.jp](mailto:info-ilec@sv.rengo-net.ro.jp)

※応募は電子媒体（Ｅ-mailへのファイルの添付など）を原則とします。

（３）応募にあたっての留意事項

提言はオリジナルで未発表のものに限ります。

　　　（新聞、雑誌、書籍、報告書などに発表されたものは応募できません）

提言内容が分かる具体的な表題を必ずつけてください。

※過去の入賞提言については、教育文化協会のホームページよりご覧になれます。

①本文

・ページ設定はＡ４縦で、文章は日本語・横書きとしてください。

　 ・字の大きさは11ポイントとしてください。

・ページ番号を下に付してください。

・字数は、「6,000～8.000字程度」を目処に、「上限10,000字」とします。(本文

の最後に概ね何字かを記入してください。図表分も字数に換算、出典の注記は、字

数から除いてください)

※規定のフォーマットのワードファイルは、教育文化協会のホームページからダウ

ンロードできます。

※上記の規定を著しく逸脱する場合は審査対象外となりますのでご注意ください。

②図表・参考文献

・図表の下に出典を必ず明記してください。

　 ・他の文献から引用する場合は、引用箇所にカギ括弧をつけ、通し番号を記し、最

後に一括して出典を注記してください。

③執筆者のご略歴・連絡先の記載

・提言の他に、下記の点を明記した別紙を添付してください。

〇氏名（本名）・ふりがな

〇現職（所属・役職名、学生の場合は学校名・学年など）

〇略歴（100字以内）

　 〇住所、電話番号、Ｅ-mailなどの連絡先（共同執筆の場合、必ず代表者の連絡

先を明記してください）

〇「私の提言」募集を知った媒体（教育文化協会のホームページ、募集チラシなど）

※応募回数に制限はございませんが、過去の応募内容と類似していると判断された場

合は、応募対象外とさせていただきます。

※応募の際にいただいた個人情報は、提言募集以外での目的には一切使用いたしませ

ん。入賞提言は、「入賞提言集」および教育文化協会のホームページに掲載させてい

ただきます。その場合、応募提言および氏名、現職、略歴のみを公表いたします。

※入賞提言の著作権は日本労働組合総連合会（連合）に帰属するものとします。

（４）応募締切2019年７月29日（月）必着

**４．発表**

2019年９月18日（水）予定

※教育文化協会ホームページにて入賞者名・提言タイトルを発表し、追って入賞提言を全

文掲載いたします。

**５．お問い合わせ先**

　公益社団法人　教育文化協会　第16回「私の提言」募集係

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台３－２－11　連合会館１階

電　話　03－5295－5421　　　ＦＡＸ 03－5295－5422

ＵＲＬ　http://www.rengo-ilec.or.jp/

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 以　上